

行政改革の取り組み

市民部

みんなで協力して目指す、環境にやさしい「まちづくり」

これまで私たちは、生活のなかで、何かに使えるものや資源になるものをごみとして出してきました。ごみとして出す前に再利用することを考えたり、資源になるごみは分別して再資源化することで、限りある資源の有効利用になります。また、買ひ物は長持ちする製品・省エネルギー製品を選び、包装を少なくすることで、ごみの発生を抑制し、処理量が減少します。これらのことは環境への負荷軽減になります。

いなべ市は「ごみ減量・リサイクル」で次のことを実施、計画しています。

○捨てればごみ、分ければ資源……「資源ごみの回収（リサイクル）事業」

各家庭や事業所から出るごみの排出量は年々増加しています。その中の再生可能なものを収集し再資源化していますが、可燃ごみの中にはまだまだ混じっています。これから分別収集を強化し、ごみゼロ社会の実現を目指します。また、粗大ごみ場へ持ち込まれる物の中には使用できる「もったいない」ものがありますので、これを有効活用できるようにリサイクルセンターの整備を進めていきます。

***現在、回収している資源ごみ**

- ・アルミ缶、スチール缶、びん、ペットボトル、紙パック等
(容器包装リサイクル法により分別収集)
- ・新聞紙、雑誌、ダンボール、古布、発泡スチロール等



○みんなで考えよう環境……「夏休み子どもリサイクル体験」

夏休みに小学生を対象とした資源ごみ分別収集の体験学習を、自治会のリサイクル拠点で実施しています。

『水洗いしてあるかな？』
『ペットボトルのフタ、はずしてあるかな？』
『アルミ缶とスチール缶が混じっていないかな？』



北勢町新町上地区

○使い終わった食用油で車が動く……「廃食油の燃料化」

各家庭から出た廃食油でBDF（バイオディーゼル燃料）を生成し、ごみ収集車等の燃料に利用しています。廃食油は資源ごみ収集日に自治会の資源ごみ集積場で回収を始めています。

『市内全世帯からの収集が目標です。』



BDF施設

○資源ごみの仲間が増えます……「プラスチック製容器包装ごみの分別収集および減容施設の建設」

容器包装リサイクル法により、平成19年度からプラスチックの分別収集を開始します。回収されたプラスチックはあじさいクリーンセンターに建設（平成18年度）する減容施設で圧縮、梱包して再生業者へ渡します。詳細については今後説明会を実施します。

プラスチック製容器包装ごみは マークがついています。

例：鶏卵パック、洗剤容器、プリン容器、マヨネーズのチューブ、お菓子の袋等



あじさいクリーンセンター